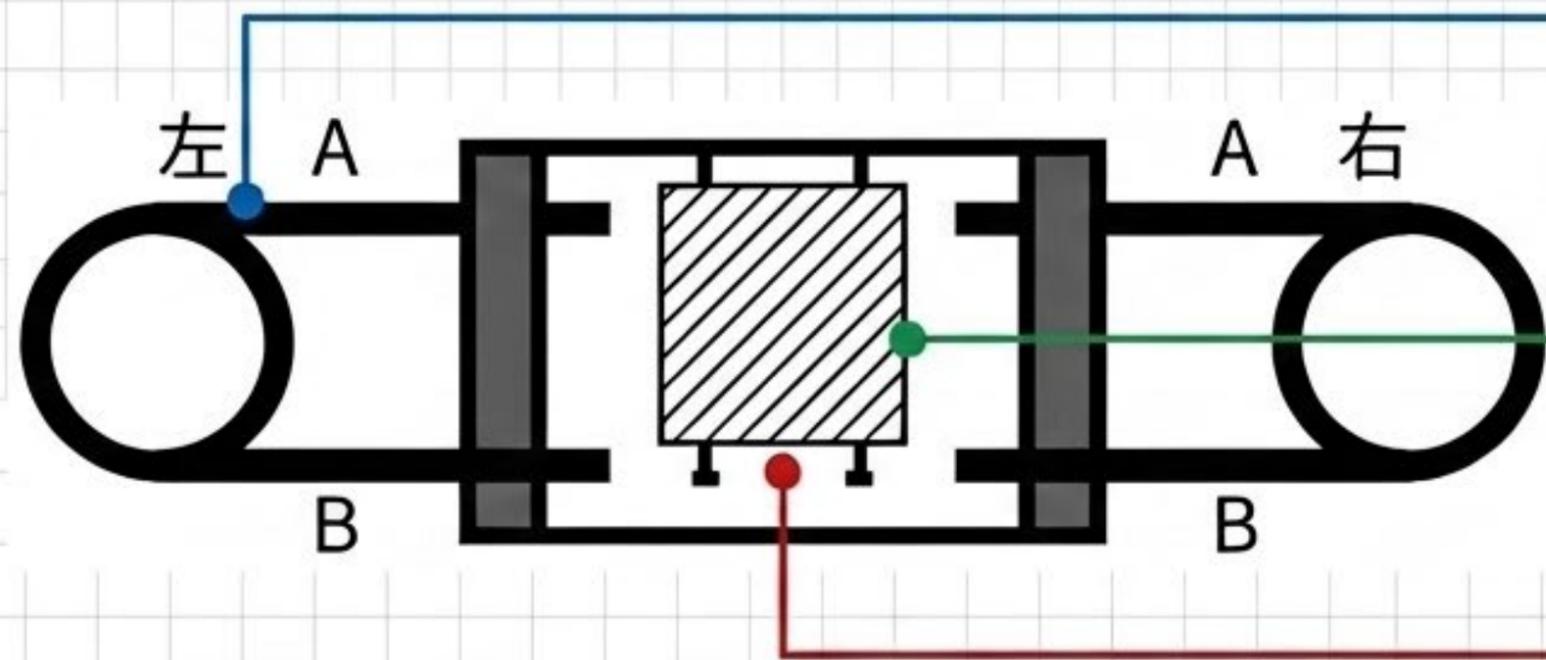


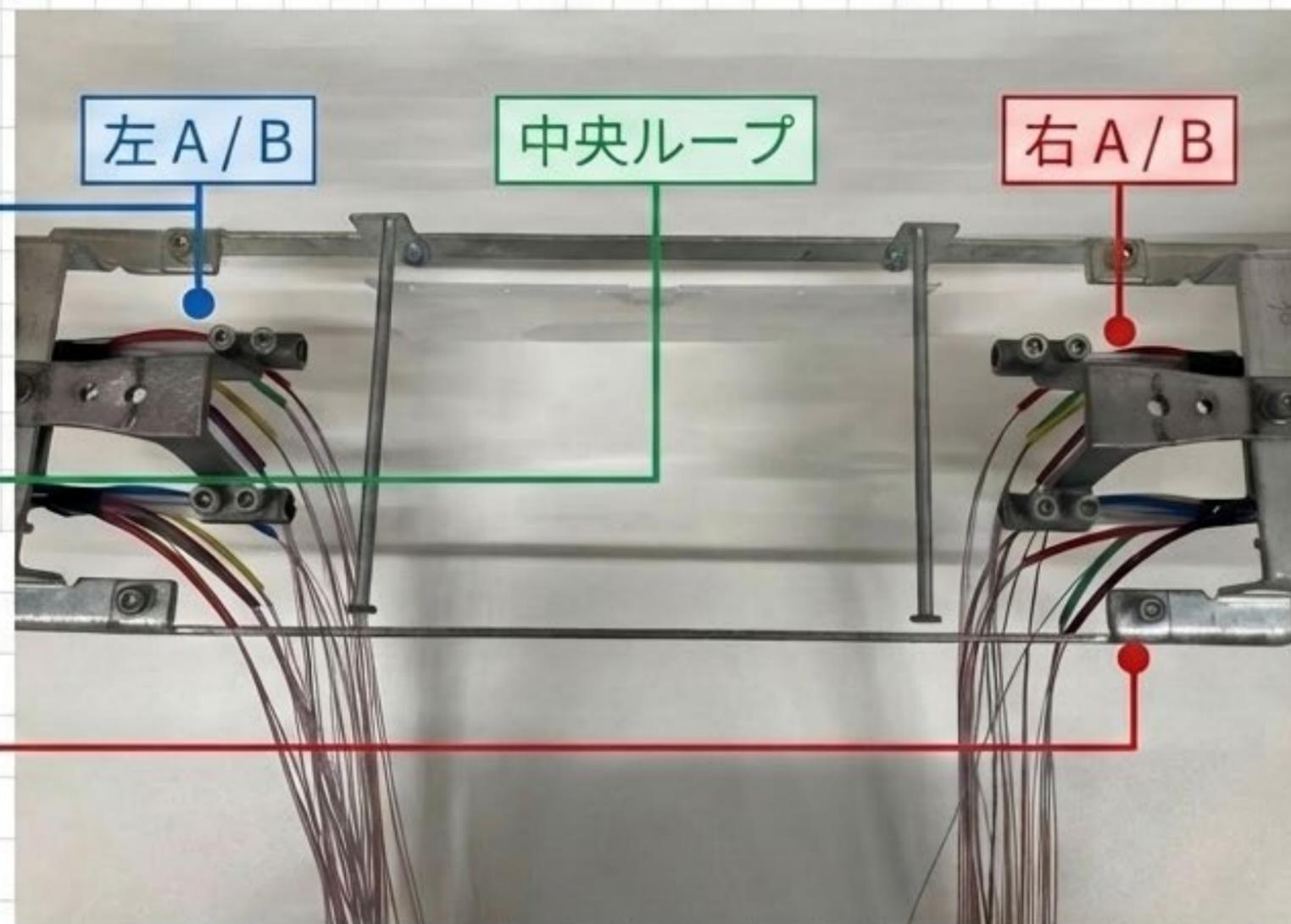
競技課題「図1」の完全解剖

第64回技能五輪全国大会「情報ネットワーク施工」
光ケーブル準備作業（50分間）の視覚的空間ガイド

The Abstract Blueprint



The Physical Execution



シース除去と余長の確保

「光ケーブル端部のシース除去を行い、
テープ心線余長は 0.9m 以上とする」
(準備の方法 1 より)

100 心 SZ スロットケーブルの
外被を正確に剥ぎ取る。

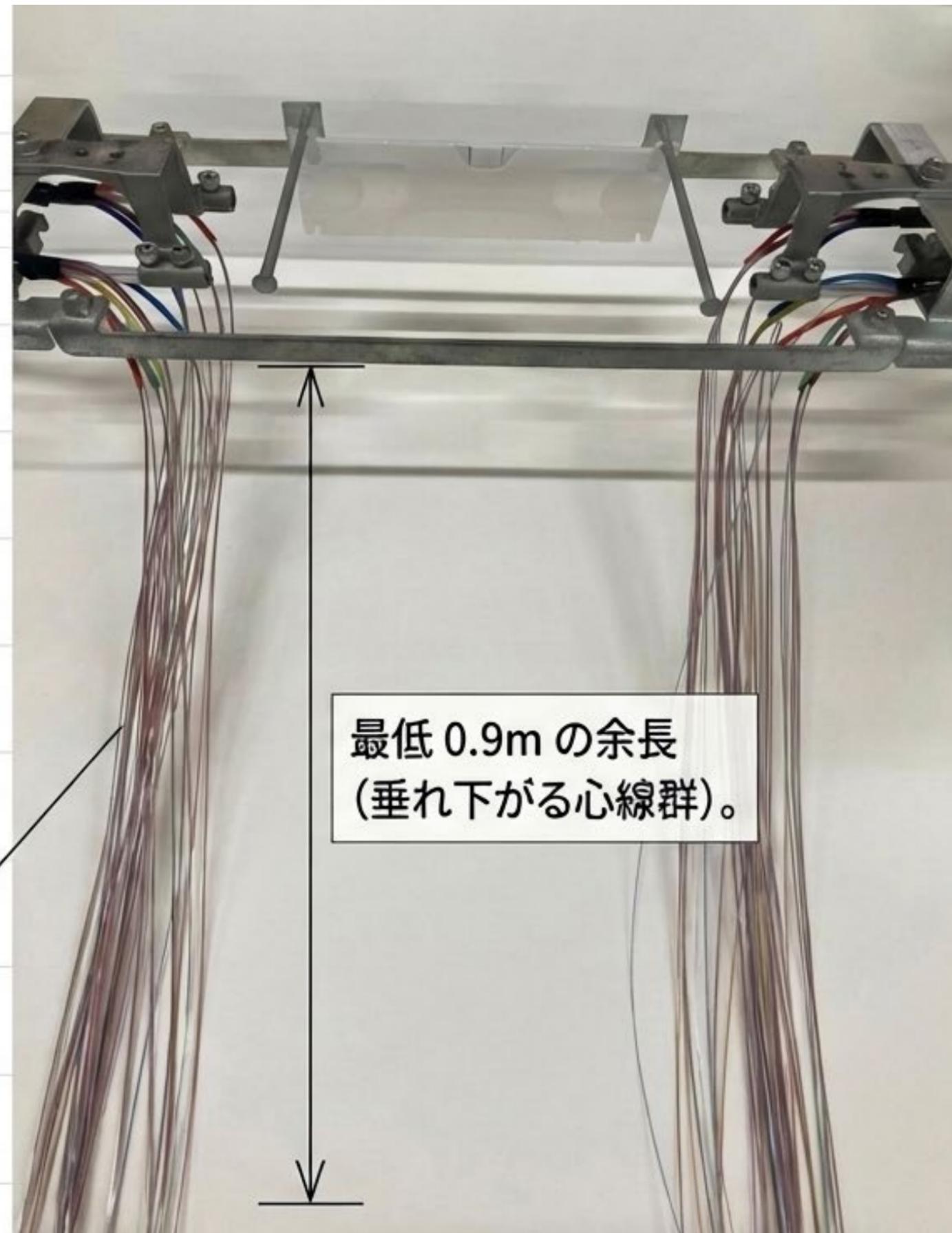


図1の規定と物理的現実の同期

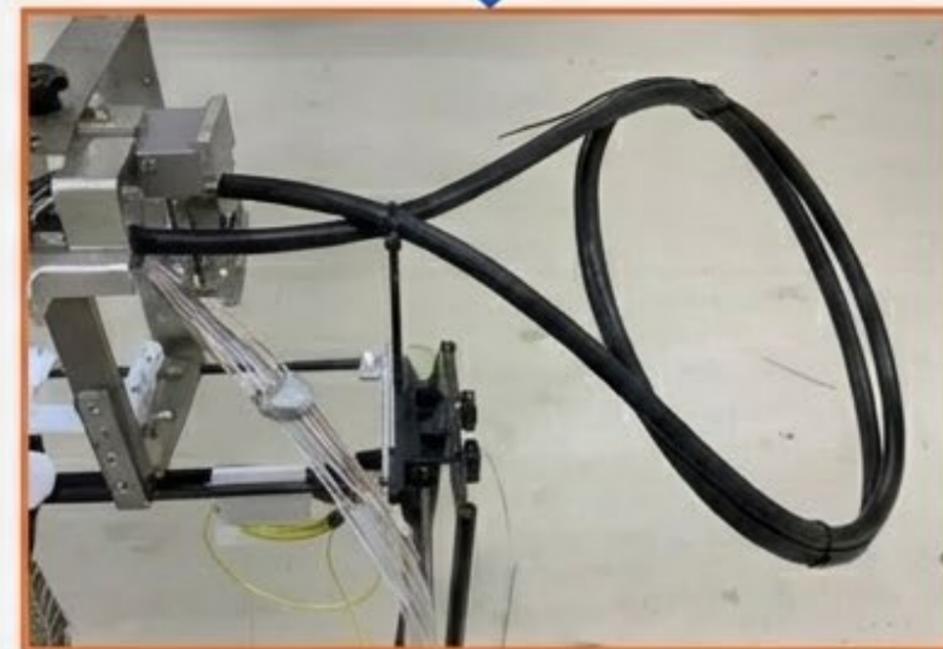
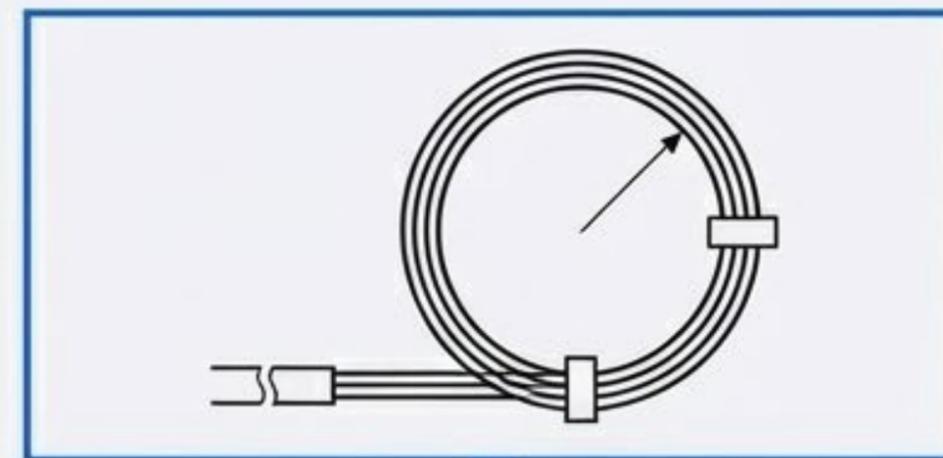
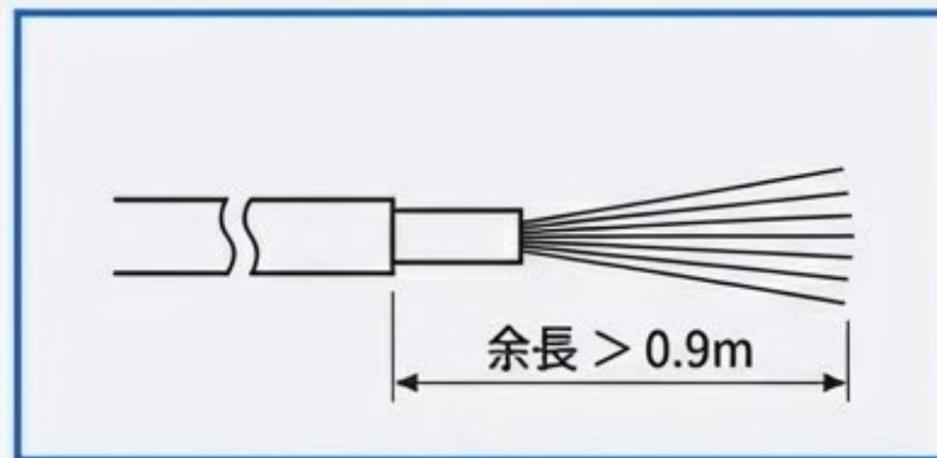
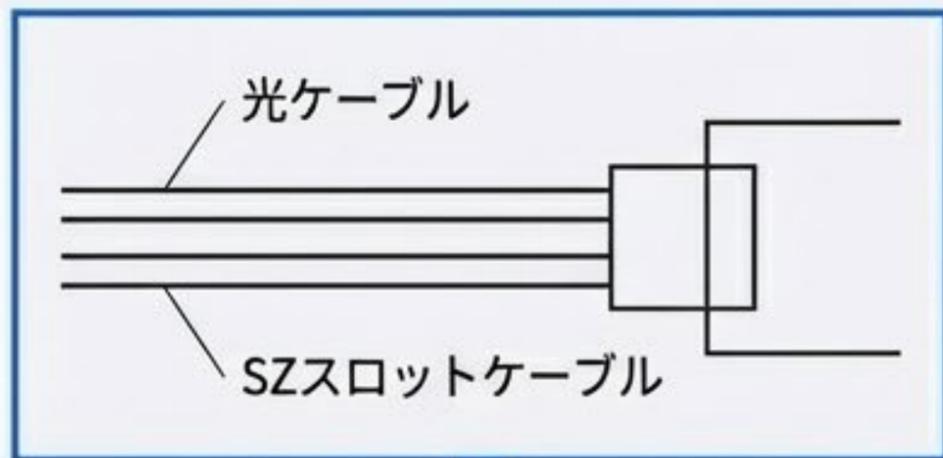


図1(a) 光ケーブル

100心 SZスロットケーブル × 2本

図1(b) ケーブルの外被処理

テープ心線余長 0.9m以上を確保。

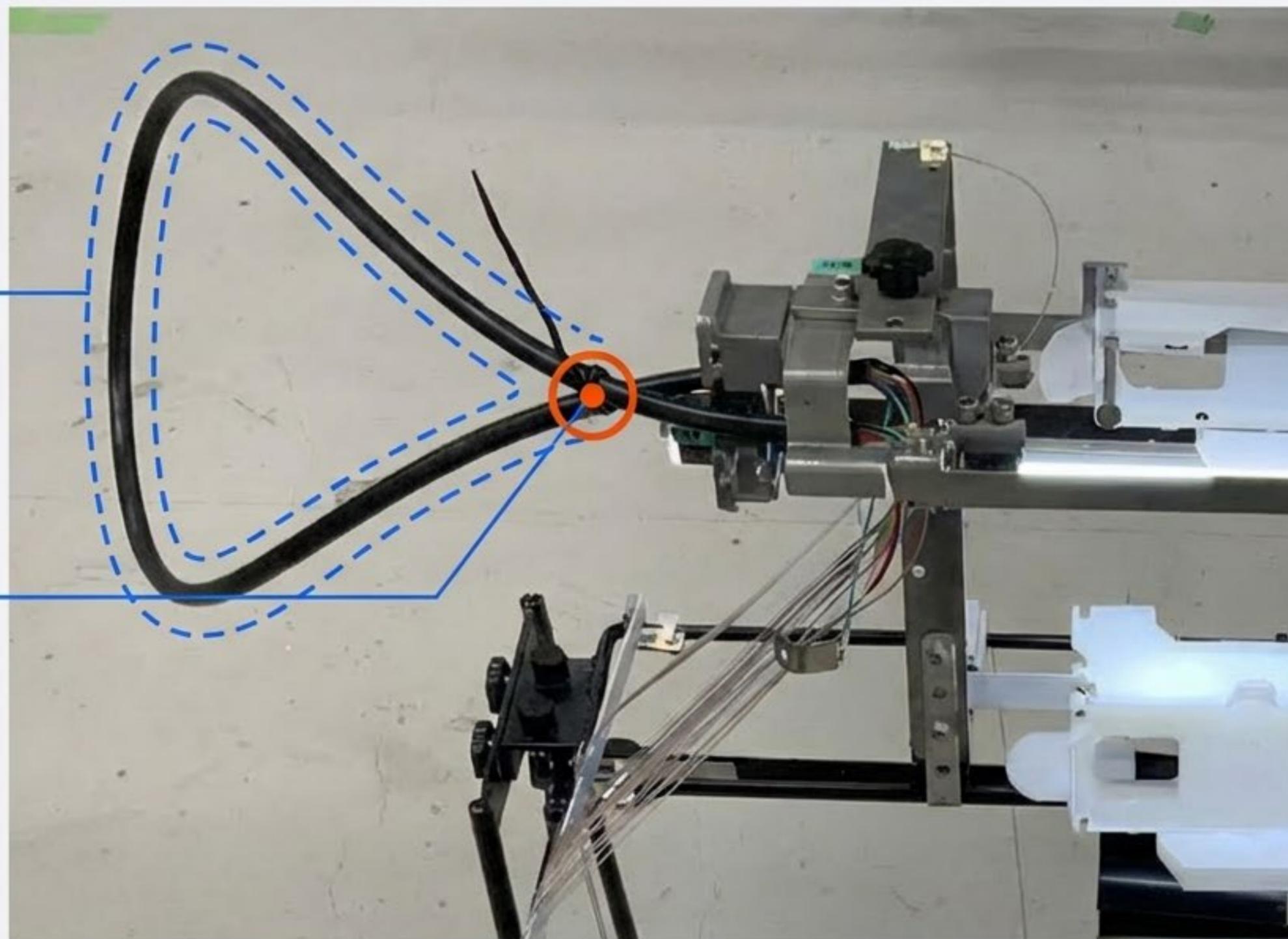
図1(c) 光ケーブルの固定

中央にループをつくり折り返して固定。

ゾーン1：ケーブルループとフレーム固定（図1-cの実践）

規定2: 「中央にループをつくり折り返して」の物理的実装。ケーブルに無理な負荷をかけず、作業空間を確保する大きなアール（曲げ）を形成。

規定2: 「固定紐等を使用して組み付ける」。架台への確実な固定ポイント。



ゾーン2: 垂直方向のテープ心線余長と識別規定 (図1-bの検証)



≥ 0.9m
(規定1: テープ心線余長)

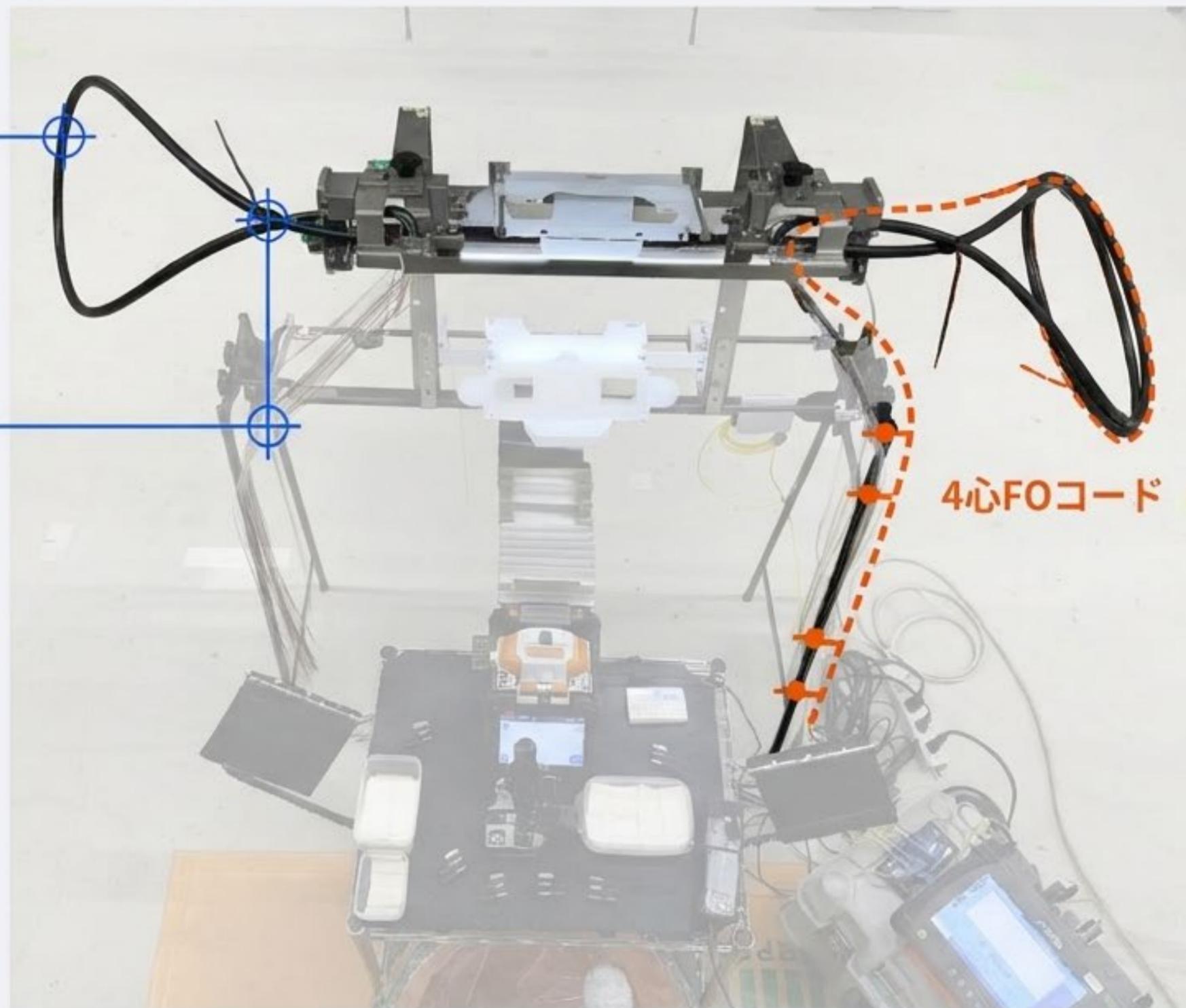
規定4 識別区分けルール

Constraint Analysis Table	
✗	NG: 心線を容易に識別できるように区分けすること (全体を選り分けるのは不可)。
✓	OK: ケーブル口元でスロット毎に網組やチューブを利用して選り分けること。
✓	OK: 心線が床に付かないようにフック等にかけること。

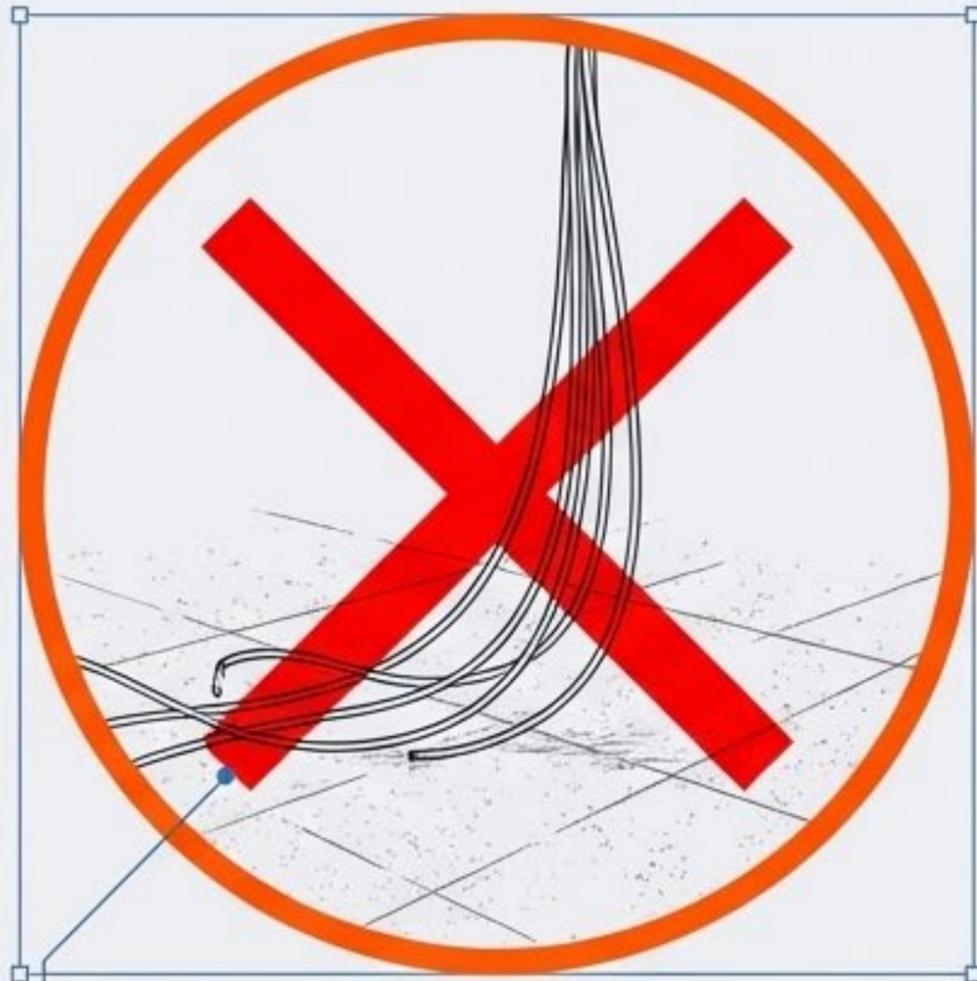
隠れた必須コンポーネント：4心FOコードの配置

役割: 30分のスピード融着接続における「始点」。
仕様: 概ね5m程度（競技者持参）。
接続先: 片端の1番心線に融着接続（規定3）。

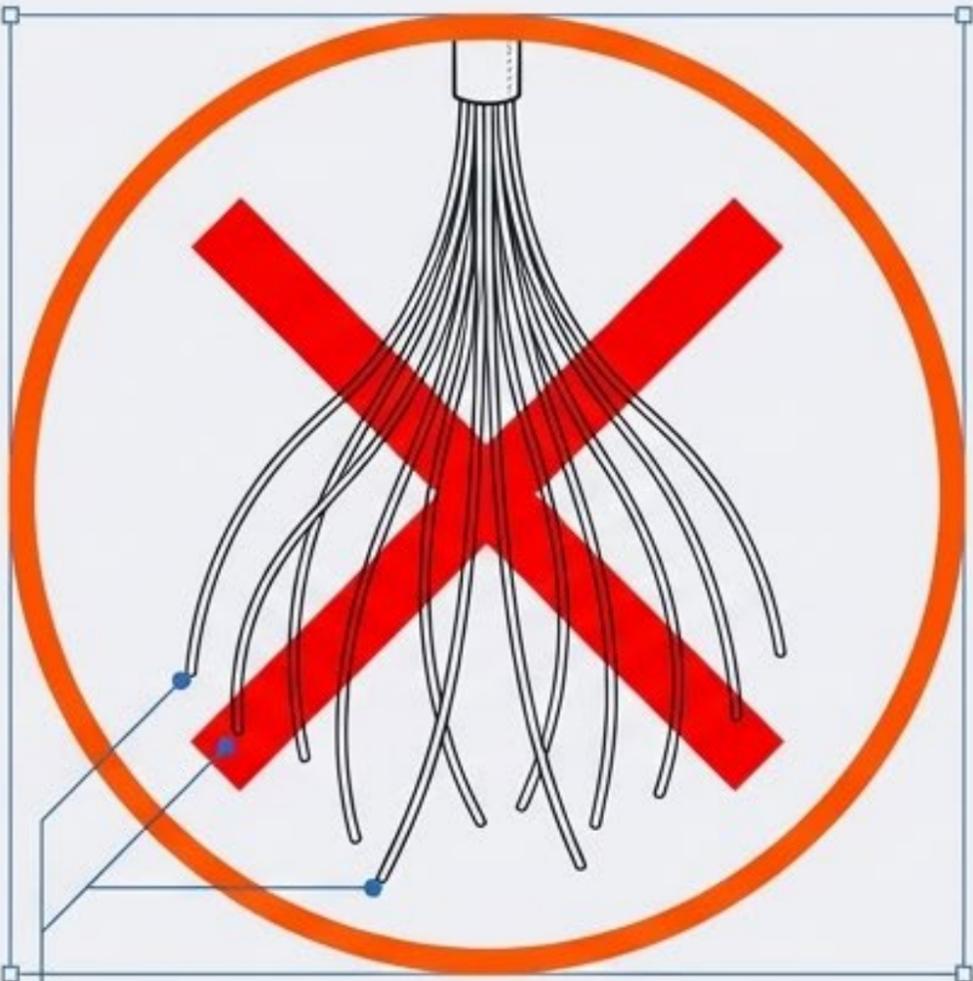
! 配置ルール: 接続作業に支障が出ないように、架台等に確実に固定すること。



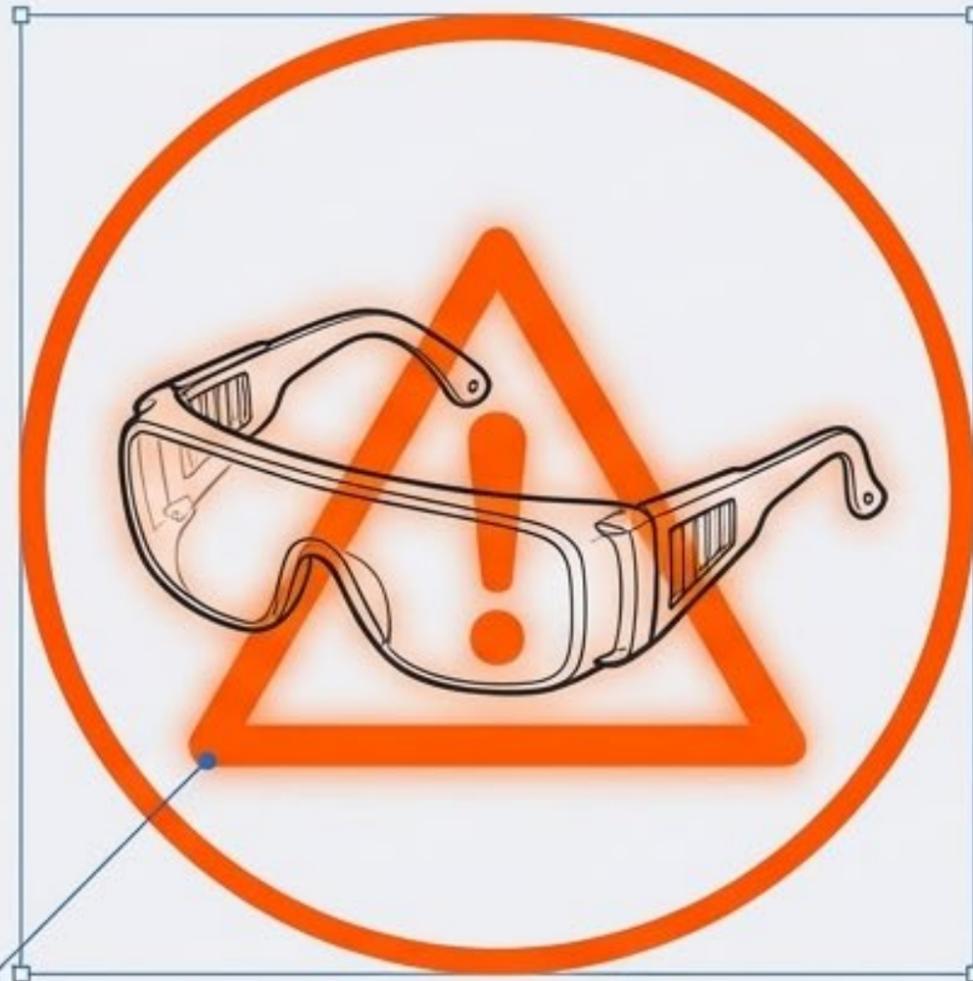
失点と安全に関するクリティカル・ピットフール



- 減点リスク：心線の床面接触（規定4違反）。フックを活用せよ。



- 減点リスク：規定外の過度な区分け・識別処理（規定4違反）。



- 重大ペナルティ：保護メガネの未着用（安全作業配点-2点）。作業中は常に着用すること。

The Ultimate Checklist

1. [0.9m+] テープ心線余長は確保されているか？
2. [ループ固定] ケーブルは中央で曲げられ、架台に固定されているか？
3. [5mコード] 1番心線に接続され、邪魔にならない位置に固定されているか？
4. [心線状態] 過度な選り分けをせず、かつ床面に接触していないか？
5. [機器準備] 電源ON、放電検査済み、着席して待機しているか？

